

妊婦感染症スクリーニングのアンケート調査 (一次産科診療施設対象)

平成 21 年に全国の一次産科診療施設（1668 施設）にアンケートを送付し、妊婦に対する感染スクリーニングの実態調査を行なった。639 の回答（回収率 38.3%）があったが、全国的にみてほぼ全ての施設で HBs 抗原、HCV 抗体、HIV 抗体、梅毒スクリーニング、風疹抗体が施行されていた。

HTLV-I 抗体検査を施行しているのは、87.8%であり、大多数の施設で HTLV-I スクリーニングが行なわれており、また九州・沖縄地区以外の地区でも地域の偏りなく広く検査が行なわれていることが判った。一方、トキソプラズマ抗体検査は約半数、サイトメガロウイルス抗体検査は 5.2%にしか施行されていないことも判明した。

HTLV-I スクリーニングは、全国で広く行なわれているが一次スクリーニングで偽陽性が生じることはこれまで広く知られておらず、早急にスクリーニング法ならびにその手順につき、まとめる必要性が認識された。

	回 答 件 数	HBs 抗原	HCV 抗体	HIV 抗体	HTLV-I 抗体	風疹 抗体	梅毒	トキソ プラズ マ抗体	サイト メガロ 抗体
北海道・東北	60	100%	100%	98.3%	83.3%	98.3%	100%	48.3%	1.7%
関東	149	100%	100%	99.3%	84.6%	98.0%	100%	54.4%	6.0%
北陸	24	100%	100%	100%	87.5%	100%	100%	62.5%	8.3%
東海・中部	98	100%	100%	98.0%	93.9%	99.0%	100%	62.2%	4.1%
近畿	102	100%	99.0%	100%	92.2%	98.0%	100%	68.6%	9.8%
中国	44	100%	100%	97.7%	79.5%	97.7%	100%	38.6%	6.8%
四国	22	100%	100%	100%	95.5%	90.9%	100%	59.1%	0%
九州・沖縄	131	100%	100%	100%	87.8%	99.2%	99.2%	48.9%	2.3%
地域不明	9	100%	88.9%	88.9%	77.8%	88.9%	100%	33.3%	11.1%
全国	639	100%	99.7%	99.1%	87.8%	98.1%	99.8%	55.2%	5.2%